

令和5年度 看護教員継続研修募集要項

目的

看護基礎教育に携わっている看護教員を対象に教育研修を実施し、看護教育実践能力の育成を支援する。

1 看護教員継続研修A-1

1) 内容・講師

- (1) テーマ：パフォーマンス課題を活用した「逆向き設計」による演習の展開
- (2) ねらい：パフォーマンス課題を活用した「逆向き設計」について、基礎的な知識を理解し、医療現場をシミュレーションした臨場感のある授業設計について学ぶ。
- (3) 講師および日程

講師：あじさい看護福祉専門学校 学校長 糸賀暢子先生

日程：令和5年8月25日（金）8:45～16:45 8時間（4コマ×1日）

(4) プログラム

月日	時間	内容	講師
8月25日 (金) 1日間	8:45～9:00	開講の挨拶・オリエンテーション	センター教員
	9:00 ～12:15	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「逆向き設計」論の基本的な考え方</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンス課題とルーブリック</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンス課題を活用した「逆向き設計」について</div>	糸賀 暢子先生 (あじさい看護 福祉専門学校 学校長)
	13:15 ～16:30	1. 「逆向き設計」による授業・演習設計の実際 2. パフォーマンス評価は看護基礎教育をどのように変えるのか 3. パフォーマンス評価をどのように新カリキュラムの実践能力の評価に活かすか 4. 現行カリキュラムのテクニカル・スキルのゴール 5. パフォーマンス課題とルーブリックを活かすカリキュラムとは 6. カリキュラムマネジメント	
	16:30 ～16:45	アンケート	センター教員

2) 対象及び応募資格

看護基礎教育に従事している看護師等養成施設（専修学校、短期大学、大学）の教員「看護教員の発達のためやすと研修プログラム」の主にキャリア発達ステージⅠ～Ⅲの教員を対象としますが、希望する教員にはキャリア発達ステージにとらわれず、柔軟に対応いたします。

3) 定員 20名程度

4) 研修方法・場所 対面研修 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

5) 受講経費 1,000円(税込み)

2 看護教員継続研修B

1) 内容・講師

(1) テーマ：看護教員のレジリエンス強化—環境変化への即応力と柔軟性—

(2) ねらい：困難な状況やストレスに上手く向き合い、安定的、持続的に力を発揮するための“レジリエンス(回復力)”とは何かを学ぶ。

(3) 講師および日程

講師：埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 教授 秋山 美紀先生

日程：令和5年8月21日(月) 8:45~16:45 8時間(4コマ×1日)

(4) プログラム

月日	時間	内容	講師
8月21日 (月) 1日間	8:45~9:00	開講の挨拶・オリエンテーション	センター教員
	9:00~12:15	講義 レジリエンスとマネジメント	埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 教授 秋山 美紀先生
	13:15~16:30	演習 1) 自己のレジリエンスを高める 2) チームのレジリエンスを高める	
	16:30~16:45	アンケート	センター教員

2) 対象及び応募資格

看護基礎教育に従事している看護師等養成施設(専修学校、短期大学、大学)の教員(「看護教員の発達のためやすと研修プログラム」のキャリア発達ステージⅡ~Ⅳ期に相応する者)を対象としますが、希望する教員にはキャリア発達ステージにとらわれず、柔軟に対応いたします。

3) 定員 20名程度

4) 研修方法・場所 対面研修 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

5) 受講経費 1,000円(税込)

3 募集期間 A-1, Bともに

令和5年6月1日(木) 8:30~6月22日(木)17:00まで

4 申込方法

当センターホームページよりフォームメールにてお申し込みください。

※収集した個人情報は、神奈川県立保健福祉大学実践教育センターの個人情報の取り扱い方針(ホームページ参照)に基づき、利用目的の範囲内で適正に取り扱います。

5 受講者の決定

7月20日(木)までに受講者を決定し、申込者のメールアドレスに、受講の可否を配信します。

6 問い合わせ

実践教育センター 実践教育部 「教員継続研修」担当 鈴木・堀内